

市町村名	行 事 名	期 日	男		女	
			チ-ム数	参加人数	チ-ム数	参加人数
都路村	〃	10			8	15
常葉町	〃	12			4	60
船引町	〃	9			7	100
田島町	婦人バレーボール大会	8.30			12	120
下郷町	家庭バレーボール大会	10.3	11	3	39	468
館岩村	〃	10.3			3	35
伊南村	〃	11.3			12	120
檜枝岐村	ソフトボール大会	10.10	4	50		
南郷村	村民球技ソフトボール大会	8.16	11	99		
只見町	家庭バレーボール大会	2.21			6	60
会津若松市	家庭バレーボール大会				12	140
北会津村	〃	7.2~3				
河東村	村内一周駅伝競技大会	9.13	22	300		
磐磐町	家庭バレーボール大会	11.22			5	60
喜苗代町	町民親善球技大会	9.6			5	60
喜多方市	家庭バレーボール大会	7.5			10	130
熱塩加納村	〃	11.7			6	78
北塩原村	〃	7.6			4	40
塩川町	〃	11.1			8	96
山都町	〃	11.2			6	80
高郷村	バレーボール大会	11.29	9	93		
西会津町	家庭バレーボール大会	11.8			10	120
会津坂下町	〃	7.12			7	84
湯川村	婦人バレーボール大会	7.28			13	125
柳津町	町民球技大会	7.20~21	20	260		
会津高田町	〃					
本郷町	家庭バレーボール大会	11.3			6	60
新鶴村	7.19 〃				10	300
三島町	ソフトボール大会	7.12	9	135		
金山町	駅伝競技大会	11.7	14	112		
昭和村	村民体育祭	7.5		500		200
いわき市	市民駅伝競技大会	11.3	15	135		
広野町	町内家庭バレー	10.4			8	80
檜葉町	家庭バレーボール大会	9.6	7	19	11	132
富岡町	〃	9.6			17	260
川内村	球技大会(ソフトボール)	10.26	16	360	16	350
大熊町	家庭バレーボール大会	11.29	4	42	10	100
双葉町	部落対抗家庭バレーボール大会	7.19			10	150
浪江町	家庭バレーボール大会	10.10			7	400
葛尾村	村民体育祭	10.10		1,000		800
新地村	家庭バレーボール大会	10.25			12	180
相馬市	〃	10.10			10	80
鹿島町	町民バレーボール大会	11.15	23	276	38	456
原町市	市総合体育大会	10.10		1,267		1,000
小高町	部落婦人バレーボール大会	1.23			9	156
飯館村	村民体育大会	9.27	12	1,200	8	700
	小 計		398	14,447	934	15,991
	合 計		1,332	チ-ム	30,438	人

## 第5節 学 校 保 健

### 1 第18回福島県学校保健研究大会

昭和45年9月9日・10日の2日間、伊達郡桑折町立醸芳小学校において開催した。

主題は「現代社会を明るくたくましく生きぬく児童・生徒の心身の育成をはかろう」とし、校長、保健主事、養護教員、一般教員、学校医、学校歯科医、学校薬剤師、児童・生徒、PTA会員など県内の学校保健関係者約600名が参加し、第一日は開会式、表彰式、特別講演、班別研究協議。第2日は班別研究協議の報告、シンポジウム、閉会式の日程で行なわれ、学校保健の理解と深化に大いに役立った。

特別講演は「性の指導とその問題点」と題して国立横浜大学教授間宮武氏の示唆に富む新しい性教育を指向した内容で、参会者に深い感銘を与えるとともに今後の本県学校保健の振興に役立った。

班別研究協議は、7領域10班に分かれて各領域それぞれの立場から研究発表ならびに研究討議が熱心に行なわれた。

シンポジウムは、伊達郡国見町立小坂小学校校長丹治和一氏の司会により、保原町立富成小学校校長浅野綾夫氏、福島市立福島第一中学校医尾形茂夫氏、同福島第四小学校養護教諭本田光子氏、安達郡岩代町立西新殿小学校教諭菅野力氏、伊達郡保原町立保町小学校PTA会員斎藤充子氏の5名がそれぞれの立場から「児童・生徒の保健意識を高めるためにはどうしたらよいか」のテーマのもとに意見の発表があり、学校保健の振興のためには学校ぐるみ、地域ぐるみの協力の必要性を強く印象づけるものがあつた。

なお、本大会において、県内の学校保健功労者ならびに学校保健優良校が表彰された。

### 2 第6回福島県学校安全研究大会

昭和45年11月18日・19日の2日間、相馬郡新地村立尚英中学校において開催した。

本大会は、日本学校安全会発足10周年を記念する大会でもあり、会場校は日本学校安全および県教育委員会指定の研究学校であるので、その発表もかねて行なわれた。

「児童・生徒の安全に対する意識と実践力を高めよう」という大会主題のもとに、学校安全関係者約200名が参加し、第1日は開会式、研究発表、班別研究協議会。第2日は公開授業、特別講演、閉会式の日程で行なわれ、大いに学校安全の振興に寄与した。

研究発表は

「わが校の交通安全指導」

伊達郡梁川町立富野小学校教頭 酒井 正男

「地域の実態に即した中学校の交通安全指導はどのようにしたらよいか」

相馬郡新地村立尚英中学校教諭 寺島 清一

の二つがあり、昨年度学校安全の優良校として文部大臣賞に輝く富野小学校と尚英中学校の三年間の研究内容の発表は、今後の学校安全の振興に大きな貢献をもたらすものであつた。

班別研究協議は、幼稚園・小学校低学年班、小学校高学年班、中学校班、高等学校班の4分科会に分れて、それぞれの分野で研究発表及び研究討議が熱心に行なわれた。

特別講演「こどものとび出し事故を考える」と題する日本大学教授宇留野藤原氏の講演は、科学的資料によるこどものとび出し事故を新しい観点からとらえ、安全指導を進める上で示唆に富んでおり、深い感銘を与えた。

なお、開会式に続いて県内の学校安全優良校が表彰された。